

学生の意識調査 中間報告書(速報版)

李永俊(弘前大学)
花田真一(弘前大学)

第1章 調査の概要

- 背景

- 東京一極集中が人口減少に拍車
- 大卒者の県外就職は歯止めがかからない状況

- 目的

- 本県大学生を取り巻く社会経済環境の影響を明らかにする。
- 地元に対する意識の形成経路の分析を試みる。
- 地元定着意思決定のメカニズムを明らかにする。

➡ 県内大卒者の県内定着の促進に向けた取組を推進するための基礎資料とする。

第1章 調査の概要

• 調査目的

青森県における、若者(県内大学生)の県内定着に向けた取組を検討するための基礎資料とすることを目的とする。

• 調査対象

「青森創生人財育成・定着推進協議会」を構成していた16高等教育機関(大学及び短期大学(部))に在籍する13,957人

※学生数は大学ポータルHP 2024在学生数、キャリア進学、大学概要等参考(弘前大学社会連携課調べ)

※弘前大学は医学部医学科を除く学部生全学年

※八戸工業高等専門学校は4.5年次(大学1、2年次相当)

• 調査方法

WEB調査(Microsoft Formsによる集計。チラシを配布し、QRコードでアクセス)

• 調査期間

2024年6月1日～8月31日

• 回収状況

回答数4,935(35.4%)(内訳:1年生 1,816/2年生 1,326/3年生 925/4年生 868)

※ 中間報告書での学系分類について(資格取得をベースに分類)

文 系:文学部・人文社会科学部・経営経済学部・総合経営学部・社会学部・経営法学部・社会福祉・地域経営・福祉専攻
・コミュニティ福祉・生活科

教育学系:教育学部・生活創生学部(幼保の資格が取れるため)・幼児保育・保育専攻・保育科

理 系:ソフトウェア情報学部・理工学部・高専・工学部・感性デザイン学部・農学生命科学部

保健学系:保健学科・健康科学部・看護・助産・保健学部・健康医療学部・食物栄養(管理栄養士は保健と分類)・救急救命
・口腔衛生・介護福祉学科・調理師養成・介護福祉

薬 学 系:(薬剤師は免許が異なるため)

第1章 調査の概要

- 性別では女性の県内希望者割合が男性より若干高くなっている。
- 県内出身者の県内希望者割合が59.8%であるのに対し、県外出身者の場合は5.0%で、出身地によって希望初職地が大きく異なることがわかる。
- 学年で就職活動が本格的に始まる3年生で県内希望者が減少していることがわかる。

属性	希望初職地		カイ二乗 検定結果	合計 (括弧内人数)	
	県内	県外			
性別	男性	33.9	66.1	***	100.0(2,088)
	女性	43.4	56.6		100.0(2,826)
出身地	県内	59.8	40.2	***	100.0(3,090)
	県外	5.0	95.0		100.0(1,845)
学年	1年生	41.8	58.2	***	100.0(1,816)
	2年生	40.8	59.2		100.0(1,326)
	3年生	35.9	64.1		100.0(925)
	4年生	35.5	64.5		100.0(868)
計	39.3(1,940)	60.7(2,995)			

注) ***, **, *印は、1%、5%、10%水準で有意であることを示す。

※カイ二乗検定：2つのカテゴリ変数が独立であるか、関連があるかを検証する基本的ツール。

第2章 県内出身者の希望初職地選択行動

- 出身地によって希望初職地が大きく異なる(李・花田(2023))。
- 青森県内出身者, 3,090名を対象を絞り, 希望初職地選択行動を概観する。
- 県内出身者では, 男女ともに県内希望者の割合が高い。
- 女性の県内希望者の割合が男性希望者の割合を上回っている。

属性	希望初職地		カイ二乗検 定結果	合計 (括弧内人数)
	県内	県外		
性別	男性	56.8	***	100.0(1,171)
	女性	61.7		100.0(1,907)

注) ***印は,1%水準で有意であることを示す。性別無回答者12名を取り除いている。

※カイ二乗検定：2つのカテゴリ変数が独立であるか、関連があるかを検証する基本的ツール。

第2章 大学生活と希望初職地

- 文系, 教育, 保健, 薬学で県内希望者が高く, 理系で低くなっている。
- 学年が上がるにつれて, 県内希望者が減少傾向。3年生で最も低くなっている。

大学生生活	希望初職地		カイ二乗 検定結果	合計 (括弧内人数)
	県内	県外		
学系統	文系	62.6	37.4	100.0(668)
	教育学系	69.7	30.3	100.0(594)
	理系	44.0	56.0	***
	保健学系	64.1	36.0	100.0(982)
	薬学系	87.5	12.5	100.0(32)
学年	1年生	62.8	37.2	100.0(1,169)
	2年生	60.0	40.0	100.0(855)
	3年生	55.7	44.3	**
	4年生	57.0	43.0	100.0(493)

注) ***, **, *印は,1%、5%、10%水準で有意であることを示す。

第2章 大学生活と希望初職地

- こちらは、男女別に希望初職地選択行動をまとめたものである。
- 男女ともに文系，教育，保健，薬学で県内希望者が高く，理系で低くなっている。
- 女性では就職活動が本格化する3年生で県内希望者が最も低くなっている。

大学生活		希望初職地(男性)		カイ二乗 検定結果	希望初職地(女性)		カイ二乗検定 結果
		県内	県外		県内	県外	
学系統	文系	66.9	33.1		59.8	40.3	
	教育学系	76.3	23.7		68.6	31.4	
	理系	41.9	58.1	***	49.0	51.0	***
	保健学系	72.4	27.6		61.4	38.6	
	薬学系	66.7	33.3		92.0	8.0	
学年	1年生	57.5	42.5		66.7	33.3	
	2年生	57.6	42.5		61.3	38.7	
	3年生	58.8	41.2	n.s.	54.0	46.1	***
	4年生	50.6	49.4		60.4	39.6	

注) ***, **, *印は,1%、5%、10%水準で有意であることを示す。

第2章 家族環境と希望初職地

- 親が県内出身の場合は、地域内に社会関係資本などが豊かで、定着しやすい。
- 父親の場合は、カイ二乗検定で、有意な差は認められず、父親の県内出身有無は希望初職地選択行動とは無関係の可能性が高い。母親の場合は5%水準で有意で、母親が県内の場合は県内に残る可能性が高いことがわかる。

	親の出身	希望初職地		カイ二乗 検定結果	合計 (括弧内人数)
		県内	県外		
父親	県内	60.3	39.7	n.s.	100.0(1,738)
	県外	59.1	40.9		100.0(1,352)
母親	県内	61.5	38.5	**	100.0(1,534)
	県外	58.0	42.0		100.0(1,556)

注) **印は、5%水準で有意であることを示す。

第2章 家族環境と希望初職地

- 三世代, ひとり親, 長子有無は, 統計的な有意差は見当たらず。
- 家族の環境で地元に残る可能性が低いことが予想される。少子化の影響も限定的である可能性が高い。

家族環境		希望初職地		カイ二乗 検定結果	合計 (括弧内人数)
		県内	県外		
三世代	1	61.3	38.7	n.s.	100.0(1,056)
	0	59.0	41.0		100.0(2,034)
ひとり親	1	57.0	43.0	n.s.	100.0(572)
	0	60.4	39.6		100.0(2,518)
一人っ子	1	60.8	39.3	n.s.	100.0(693)
	0	59.5	40.5		100.0(2,397)
長子	1	59.2	40.8	n.s.	100.0(1,968)
	0	60.8	39.2		100.0(1,122)

注) 家族環境の1は特定のカテゴリに該当していることを表す。

第2章 学校生活と希望初職地

- アルバイトとボランティア活動が1%水準で有意であった。アルバイトやボランティア活動の経験者の県外希望者が若干高くなっている。
- 課題活動に積極的な者は対人不安が少なく、県外移動に対する不安が少ないことが考えられる。アルバイトについては、経済的な要因も含まれているため、解釈に注意が必要である。

課外活動		希望初職地		カイ二乗 検定結果	合計 (括弧内人数)
		県内	県外		
アルバイト	1	54.1	45.9	***	100.0(1,964)
	0	69.7	30.3		100.0(1,126)
クラブ&サークル	1	58.5	41.5	n.s.	100.0(1,473)
	0	60.9	39.1		100.0(1,617)
ボランティア	1	58.6	41.4	***	100.0(2,531)
	0	64.9	35.1		100.0(559)

注) ***印は、1%水準で有意であることを示す。課外活動の1は特定のカテゴリに該当していることを表す。

第2章 大学の所在地別と希望初職地

- 東青，中南地域で県内希望者が高く，三八上北地域で県外希望者が多い。
- 地域の特性的のみならず，大学の分野の差などにも大きく左右される。解釈には注意が必要。

大学の地域		希望初職地		カイ二乗 検定結果	合計 (括弧内人数)
		県内	県外		
地域	中南地域	61.9	38.1		100.0(1,810)
	東青地域	69.6	30.4	***	100.0(546)
	三八上北地域	47.1	52.9		100.0(734)

注) ***印は,1%水準で有意であることを示す。

第2章 地域志向教育と希望初職地

- 地域の現場体験のみが統計的に有意で、地域の現場体験を経験した者ほど、県内希望者の割合が高い。
- 地域の現場体験が地元意識につながっている可能性が高いことを示唆している。

		希望初職地		カイ二乗 検定結果	合計 (括弧内人数)
		県内	県外		
地域志向教育	3科目未満	59.4	40.6	n.s.	100.0(2,370)
	3科目以上	61.0	39.0		100.0(720)
地域の現場体験	なし	55.1	44.9	***	100.0(1,246)
	あり	62.9	37.1		100.0(1,844)

注) ***印は、1%水準で有意であることを示す。

第2章 希望産業と希望初職地

(複数回答)

希望産業	希望初職地		合計	
	県内	県外	構成比	人数
公務	68.3***	31.7	100.0	875
農林漁業	64.0	36.0	100.0	175
建設業	39.2	60.8***	100.0	158
製造業	47.9	52.1***	100.0	217
電気・ガス・水道業	38.5	61.5***	100.0	135
情報通信業	41.8	58.2***	100.0	323
運輸・郵便業	39.2	60.8***	100.0	51
卸売・小売業	58.9	41.1	100.0	197
金融・保険業	52.6*	47.4	100.0	152
不動産・物品賃貸業	50.0	50.0	100.0	80
学術研究・専門・技術サービス業	45.3	54.7***	100.0	287
宿泊・飲食サービス業	54.1**	46.0	100.0	296
生活関連サービス・娯楽業	44.9	55.1***	100.0	245
教育・学習支援業	68.9***	31.1	100.0	669
医療・福祉	64.0***	36.0	100.0	1124
複合サービス業	48.5	51.5**	100.0	99
その他	42.7	57.3***	100.0	82

- 県内希望者の割合が高い産業：

公務，教育・学習支援業，医療・福祉，
宿泊・飲食サービス業

- 県外希望者の割合が高い産業：

電気・ガス・水道，建設業，運輸・郵便業，
情報通信業，生活関連サービス・娯楽業，
学術研究・専門・技術サービス業，製造業

注) **、*印は、カイ二乗検定で1%、5%、10%水準で有意であることを示す。

第2章 希望職種と希望初職地

- 県内希望者の割合が高い職種： 管理的な仕事，サービスの仕事，事務的な仕事
- 県外希望者の割合が高い職種： 生産工程，建設・採掘の仕事

(複数回答)

希望職種	希望初職地		合計	
	県内	県外	構成比	人数
管理的な仕事	58.1***	41.9	100.0	687
専門的・技術的な仕事	59.4	40.6	100.0	1954
事務的な仕事	62.9**	37.2	100.0	856
販売の仕事	54.4**	45.6	100.0	307
サービスの仕事	55.8***	44.2	100.0	776
保安の仕事	56.8	43.2	100.0	111
生産工程の仕事	46.6	53.4***	100.0	131
運輸・機械運搬の仕事	48.9	51.1	100.0	47
建設・採掘の仕事	47.4	52.6**	100.0	78
運搬・清掃・包装等の仕事	69.4*	30.6	100.0	72
その他	65.7	34.3	100.0	99

注) ***, **, *印は, カイ二乗検定で1%、5%、10%水準で有意であることを示す。

第2章 情報源別と希望初職地

- 県内・県外希望者ともに、インターネットの求人情報利用者が7割を超え、最も高くなっている。

(複数回答)

情報源	希望初職地	
	県内	県外
新聞・雑誌・企業のパンフレット	40.2	41.5
インターネットの求人情報	71.0	77.7
ハローワーク、ジョブカフェなど	13.2	12.5
民間の職業紹介所	5.0	5.2
合同会社説明会のようなイベントで	19.6	24.9
学校の就職支援センターなど	41.3	34.0
両親の紹介	16.1	9.2
両親以外の家族、親戚の紹介	7.1	5.1
親しい友人の紹介	9.1	9.9
あまり親しくない知り合いの紹介	1.0	1.4
その他（以下にご記入ください）	1.5	1.2

第2章 希望理由別と希望初職地

- 県内希望者：住み慣れていて便利，親や家族を支えたい，出身地域が好きだから
- 県外希望者：出身地域と別の場所で生活してみたい，都会の方が便利だから，希望する企業，給与や待遇

(複数回答)

希望理由	希望初職地	
	県内	県外
自分の能力が活かせそうだから	20.0	20.3
希望する企業があるから	14.0	37.7
知人が多いから	31.6	6.8
親や家族を支えたいから	51.2	5.2
出身地域が好きだから/ その地域が好きだから	48.1	22.1
就職後の生活が精神的に楽だと思えるから	38.2	12.3
希望する給与や待遇が期待できるから☑	4.2	38.0
物価が安く、経済的な負担が少ないから/ 出身地域と別の場所で生活してみたいから	18.0	46.7
親と家族の勧めで	10.1	2.1
奨学金を借りているから	15.1	6.6
住み慣れていて便利だから/ 都会の方が便利だから	62.3	46.5
その他	1.8	2.7

第2章 公務・民間別と希望初職地

- 県内希望者は公務, どれでも, 県外希望者は起業と民間が多い。
- 起業希望者は, 全体の2.6%にみたないため, 解釈には注意する必要がある。

公務・民間別	希望初職地		カイ二乗 検定結果	合計 (括弧内人数)
	県内	県外		
民間企業を希望する	49.3	50.7		100.0(1,253)
公務員を希望する	74.6	25.4	***	100.0(995)
起業を希望する	34.2	65.8		100.0(79)
どれでもかまわない	60.6	39.4		100.0(751)

注) ***印は,1%水準で有意であることを示す。

第2章 希望初任給と希望初職地

- 回答の中で、上下5%未満だった、10万円未満と51万円以上を取り除いた
- 県内希望者の平均より県外希望者の平均が1.4万円高くなっている。

(単位：万円)

	平均	標準偏差	最小値	最大値
希望就職地 県内	22.4	5.1	10.5	50.0
希望就職地 県外	23.8	5.5	12.0	50.0

第2章 地元意識・幸福度と希望初職地

- 地元意識は「あてはまらない」1点,「あてはまる」5点の5段階評価。
- 幸福度は「不幸」1点,「幸せ」10点の10段階評価。
- すべての地元意識において,県内希望者が県外希望者を上回っている。
- 特に,③拘束性と④かかわりを持ち続けたいで差が大きくなっている。
- 幸福度も,県内希望者が県外希望者を上回っている。

	希望初職地	
	県内	県外
地域の一員であると感じる	3.83	3.50
この地域に愛着を感じる	4.12	3.54
この地域を離れることは, 困難である	3.33	2.11
これからもこの地域とかかわりを持ち続けたいと思う	4.02	3.16
この地域は10年後も今と同じぐらい賑やかであると思う	2.83	2.31
現在の幸福度 (幸せ = 10)	7.07	6.95

第3章 県外出身者の希望初職地選択行動

- 出身地によって希望初職地が大きく異なる(李・花田(2023))。
- 青森県外出身者, 1,845名を対象を絞り, 希望初職地選択行動を概観する。
- タイプ: 青森定着(5.0%), Uターン(68.4%), Iターン(26.6%)
- 最も多い北海道出身者: 80.3%がUターン, 青森定着は1.2%のみ。

属性	タイプ			カイ二乗 検定結果	合計 (括弧内人数)	
	青森定着	Uターン	Iターン			
性別	男性	4.6	68.8	26.6	n.s.	100.0(917)
	女性	5.4	68.2	26.3		100.0(919)
出身地	北海道	1.2	80.3	18.5	***	100.0(653)
	岩手県	6.3	56.3	37.4		100.0(332)
	秋田県	9.7	53.7	36.6		100.0(268)
	宮城県	4.8	73.0	22.2		100.0(126)
	山形県	6.3	68.8	25.0		100.0(48)
	福島県	0.0	55.9	44.1		100.0(34)
	関東・甲信越	7.1	79.7	13.2		100.0(212)
	東海・北陸	4.0	71.1	25.0		100.0(76)
	近畿	0.0	66.7	33.3		100.0(33)
	外国	25.7	20.0	54.3		100.0(35)

注) ***は1%水準で有意であることを示す。20名以下の出身地は掲載していない。

第3章 大学生活と希望初職地

- 青森定着が多いのは、保健学系と文系と教育学系。
- Iターンが多いのは、理系と文系。
- 1年生と比較して、4年生の青森定着希望が3.3ポイント増加。

大学生生活	タイプ			カイ二乗 検定結果	合計 (括弧内人数)	
	青森定着	Uターン	Iターン			
学系統	文系	5.7	64.3	30.0	100.0(297)	
	教育学系	5.5	79.5	15.0	100.0(200)	
	理系	3.3	66.1	30.6	***	100.0(821)
	保健学系	7.4	69.6	23.0		100.0(517)
	薬学系	0.0	90.0	10.0		100.0(10)
学年	1年生	3.9	73.7	22.4		100.0(647)
	2年生	5.9	70.1	24.0		100.0(471)
	3年生	3.7	65.9	30.4	***	100.0(352)
	4年生	7.2	59.5	33.3		100.0(375)

注) ***は1%水準で有意であることを示す。

第3章 家族環境と希望初職地

- 親の出身と実家の所在地と一緒にいる場合は定住者，違う場合は移住者
- 母親が定住者の場合： Uターン希望者が多く，移住者の場合はIターン者が多い

親の出身		タイプ			カイ二乗 検定結果	合計 (括弧内人数)
		青森定着	Uターン	Iターン		
父親	定住者	5.3	67.8	26.9	n.s.	100.0(1,037)
	移住者	4.7	69.2	26.1		100.0(808)
母親	定住者	5.2	71.2	23.6	**	100.0(941)
	移住者	4.9	65.5	29.7		100.0(904)

注) **は5%水準で有意であることを示す。

第3章 家族環境と希望初職地

- カイ二乗検定で有意なものはない。家族環境には影響されないことがわかる。

家族環境		タイプ			カイ二乗 検定結果	合計 (括弧内人数)
		青森定着	Uターン	Iターン		
三世代	1	5.6	65.8	28.6	n.s.	100.0(483)
	0	4.9	69.3	25.8		100.0(1362)
ひとり親	1	5.5	66.2	28.3	n.s.	100.0(237)
	0	5.0	68.7	26.3		100.0(1,608)
一人っ子	1	5.4	70.1	24.5	n.s.	100.0(298)
	0	5.0	68.1	27.0		100.0(1,547)
長子	1	4.8	68.2	27.0	n.s.	100.0(1,077)
	0	5.3	68.8	25.9		100.0(768)

注) 家族環境の1は特定のカテゴリに該当していることを表す。

第3章 大学生活と希望初職地

- アルバイトとボランティア活動が1%水準で有意であった。
- アルバイトしている場合、青森定着が若干高い。
- ボランティアをしている場合、Uターンの割合が高く見える。詳細な分析が必要

課外活動		タイプ			カイ二乗 検定結果	合計 (括弧内人数)
		青森定着	Uターン	Iターン		
アルバイト	1	5.2	66.4	28.4	***	100.0(1,045)
	0	4.9	71.0	24.1		100.0(800)
クラブ&サークル	1	4.5	69.6	25.9	n.s.	100.0(1,282)
	0	6.2	65.7	28.1		100.0(563)
ボランティア	1	4.9	69.6	25.5	***	100.0(1,489)
	0	5.6	63.5	30.9		100.0(356)

注) ***は1%水準で有意であることを示す。課外活動の1は特定のカテゴリに該当していることを表す。

第3章 大学生活と希望初職地

- 青森定着希望者の割合が高いのは、東青地域、三八上北地域。
- Iターン希望者の割合が高いのも、東青地域、三八上北地域。
- Uターン希望者の割合が最も高いのは、中南地域。

大学の地域	タイプ			カイ二乗 検定結果	合計 (括弧内人数)
	青森定着	Uターン	Iターン		
地域	中南地域	4.0	70.1	25.9	100.0(1,540)
	東青地域	13.4	59.8	26.8	*** 100.0(97)
	三八上北地域	9.1	59.6	31.3	100.0(208)

注) ***は1%水準で有意であることを示す。

第3章 地域志向教育と希望初職地

- カイ二乗検定では両方とも有意でなかった。詳細な分析が必要。

		地域志向教育		カイ二乗 検定結果	合計 (括弧内人数)
		3科目未満	3科目以上		
	青森定着	73.1	26.9		100.0(93)
タイプ	Uターン	78.9	21.1	n.s.	100.0(1,262)
	Iターン	76.1	23.9		100.0(490)
		地域の現場体験		カイ二乗 検定結果	合計 (括弧内人数)
		なし	あり		
	青森定着	41.9	58.1		100.0(93)
タイプ	Uターン	40.9	59.1	n.s.	100.0(1,262)
	Iターン	45.5	54.5		100.0(490)

注) カイ二乗検定では有意なものはなかった。

第3章 希望産業と希望初職地

(複数回答)

希望産業	希望初職地			カイ二乗 検定結果	合計	
	青森定着	Uターン	Iターン		構成比	人数
公務	5.3	75.1	19.6	***	100.0	551
農林漁業	6.4	73.3	20.3	*	100.0	236
建設業	3.7	62.4	33.9		100.0	109
製造業	3.4	64.3	32.4		100.0	179
電気・ガス・水道業	3.3	62.0	34.7	*	100.0	121
情報通信業	2.4	59.6	38.0	***	100.0	208
運輸・郵便業	2.4	61.9	35.7		100.0	42
卸売・小売業	3.2	59.1	37.8	**	100.0	127
金融・保険業	3.6	64.9	31.5		100.0	111
不動産・物品賃貸業	0.0	55.3	44.7	***	100.0	47
学術研究・専門・技術サービス業	2.3	63.9	33.8	***	100.0	343
宿泊・飲食サービス業	4.3	55.0	40.7	***	100.0	140
生活関連サービス・娯楽業	1.4	55.1	43.5	***	100.0	147
教育・学習支援業	3.4	77.7	18.9	***	100.0	349
医療・福祉	7.0	69.6	23.5	***	100.0	588
複合サービス業	3.5	57.5	39.1	**	100.0	87
その他	4.9	48.8	46.3	**	100.0	41

- 青森定着希望者の割合が高いのは、医療・福祉，農林漁業，公務
- Uターン希望者の割合が高いのは、教育・学習支援業，公務，農林漁業
- Iターン希望者の割合が高いのは、不動産・物品賃貸業，生活関連サービス・娯楽業，宿泊・飲食サービス業

注) ***、**、*印は、カイ二乗検定で1%、5%、10%水準で有意であることを示す。

第3章 希望職種と希望初職地

・カイ二乗検定により、統計的に有意な差が確認されたのは、専門的・技術的な職業のみであった。つまり、他の職業においては特定の職種で異なる傾向は見られず、約70%がUターン、約25%がIターン、約5%が青森に定着している。

(複数回答)

希望職種	希望初職地			カイ二乗 検定結果	合計	
	青森定着	Uターン	Iターン		構成比	人数
管理的な仕事	4.6	68.0	27.4		100.0	500
専門的・技術的な仕事	4.2	68.8	27.0	**	100.0	1265
事務的な仕事	4.2	69.1	26.8		100.0	482
販売の仕事	5.5	63.8	30.7		100.0	163
サービスの仕事	5.7	64.5	29.9		100.0	422
保安の仕事	6.5	66.2	27.3		100.0	77
生産工程の仕事	5.0	67.5	27.5		100.0	120
運輸・機械運搬の仕事	3.1	71.9	25.0		100.0	32
建設・採掘の仕事	4.2	60.4	35.4		100.0	48
運搬・清掃・包装等の仕事	2.9	73.5	23.5		100.0	34
その他	5.5	65.5	29.1		100.0	55

注) **、*印は、カイ二乗検定で1%、5%、10%水準で有意であることを示す。

第3章 希望理由と希望初職地

- 青森定着希望者に多い理由は、希望する企業があるから。
- Uターン希望者に多い理由は、その地域が好きだから。
- Iターン希望者に多い理由は、都会の方が便利だから。

(複数回答)

希望理由	希望初職地		
	青森定着	Uターン	Iターン
自分の能力が活かせそうだから	24.7	13.6	27.3
希望する企業があるから	30.1	18.3	45.3
知人が多いから	26.9	33.0	11.6
親や家族を支えたいから	19.4	47.1	7.1
出身地域が好きだから/その地域が好きだから	9.7	65.1	26.5
就職後の生活が精神的に楽だと思っから	14.0	29.8	14.3
希望する給与や待遇が期待できるから☑	8.6	11.6	41.2
物価が安く、経済的な負担が少ないから/出身地域と別の場所で生活してみたいから	14.0	1.7	36.1
親と家族の勧めで	4.3	6.4	2.9
奨学金を借りているから	10.8	4.8	3.3
住み慣れていて便利だから/都会の方が便利だから	29.0	21.2	49.2

第3章 情報源別と希望初職地

- すべてのタイプでインターネットの求人情報が最も多い。
- 新聞・雑誌・企業のパンフレットも有効な情報源となっている。

(複数回答)

情報源	タイプ		
	青森定着	Uターン	Iターン
新聞・雑誌・企業のパンフレット	41.9	35.1	38.4
インターネットの求人情報	58.1	71.6	75.3
ハローワーク、ジョブカフェなど	8.6	10.0	8.8
民間の職業紹介所	4.3	5.5	5.7
合同会社説明会のようなイベントで	22.6	22.4	27.1
学校の就職支援センターなど	38.7	38.7	38.0
両親の紹介	9.7	12.8	6.5
両親以外の家族、親戚の紹介	3.2	4.4	3.5
親しい友人の紹介	6.5	7.4	9.0
あまり親しくない知り合いの紹介	2.2	0.3	1.8
その他	3.2	2.4	1.0

第3章 希望初任給と希望初職地

- 初任給が高い順に、青森定着⇒Iターン⇒Uターン。
- Uターン希望者は賃金水準が少々低くても、その地域が好きだから戻る。地元愛着が強く関連していることがわかる。

(単位：万円)

		平均	標準偏差	最小値	最大値
	青森定着	24.4	6.0	15.0	50.0
タイプ	Uターン	23.3	5.6	11.0	50.0
	Iターン	24.2	5.4	12.0	50.0

第3章 民間公務別と希望初職地

- 民間企業希望者，公務員希望者いずれも，Uターン希望者が最も多く，次にIターン希望者，青森定着順になっている。

公務・民間別	タイプ			カイ二乗 検定結果	合計 (括弧内人数)
	青森定着	Uターン	Iターン		
民間企業を希望する	3.7	63.1	33.3		100.0(823)
公務員を希望する	4.6	79.0	16.4	***	100.0(605)
起業を希望する	12.5	28.1	59.4		100.0(32)
どれでもかまわない	8.1	66.5	25.5		100.0(385)

注) ***は1%水準で有意であることを示す。

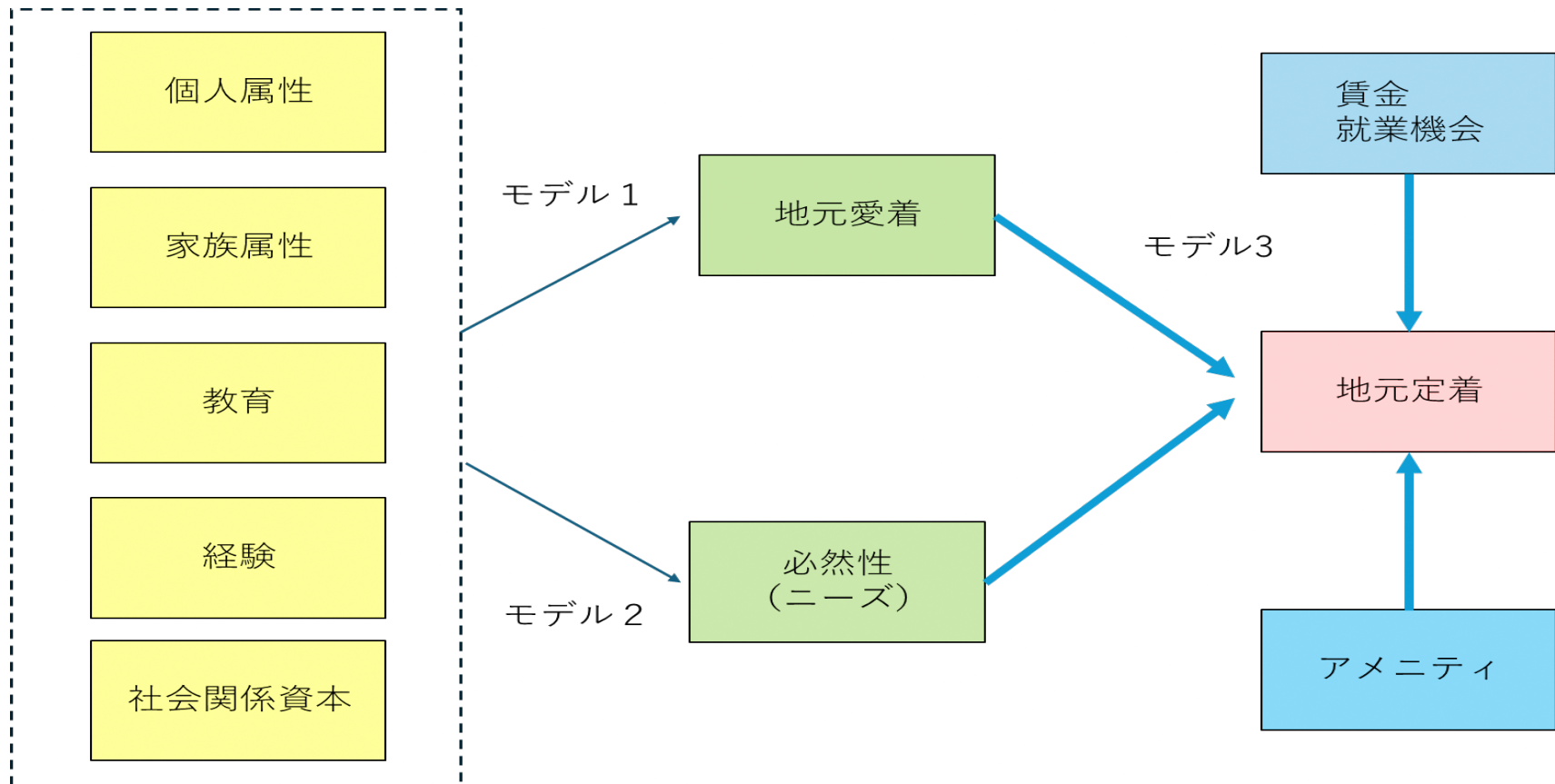
第3章 地元意識・幸福度と希望初職地

- 青森定着希望者は、すべての地元意識そして現在の幸福度が最も高くなっている。
- Iターン希望者は現在の幸福度が最も低くなっている。

	タイプ		
	青森定着	Uターン	Iターン
地域の一員であると感じる	3.25	2.50	2.57
この地域に愛着を感じる	3.85	2.87	2.94
この地域を離れることは、困難である	2.62	1.64	1.54
これからもこの地域とかかわりを持ち続けたいと思う	3.68	2.82	2.72
この地域は10年後も今と同じぐらい賑やかであると思う	3.06	2.64	2.50
現在の幸福度（幸せ = 10）	7.57	7.28	7.17

第4章 構造モデルの計量分析

- 第4章では、県内出身者のうち、性別や賃金で非回答がない2,412名に対象を絞り、構造モデルに沿って、推計を行う。
- 出身別に希望初職地選択行動が大きく異なっていたため、県内出身者と県外出身者で分けて分析を行う。



第4章 用いる変数と基本統計量

- 被説明変数：
 - 第一段階： 地元意識5変数＋現在幸福度
 - 第二段階： 県内・県外希望ダミー

	希望進学先		χ^2 値	df	有意水準	最小値	最大値
	県内 (n=1,396)	県外 (n=1,016)					
県内県外ダミー	0.58	0.42				0	1
地域の一員	3.84	3.50	46.23	4	p<.01	1	5
地域に愛着	4.13	3.53	170.87	4	p<.01	1	5
地域を離れることは困難	3.32	2.08	530.65	4	p<.01	1	5
かかわりをもちたい	4.04	3.14	347.75	4	p<.01	1	5
10年後も同じくらい賑やか	2.81	2.28	108.65	4	p<.01	1	5
現在の幸福度	7.11	6.99	11.84	9	n. s.	1	10

第4章 用いる変数と基本統計量

- 第一段階の説明変数: 個人属性1 + 家族環境5 + 学校生活14

	希望進学先		χ^2 値	df	有意水準	最小値	最大値
	県内 (n=1,396)	県外 (n=1,016)					
男性ダミー	0.55	0.45	6.07	1	n. s.	0	1
父親県内出身ダミー	0.59	0.41	1.07	1	n. s.	0	1
母親県内出身ダミー	0.60	0.40	6.12	1	n. s.	0	1
三世代ダミー	0.59	0.41	0.93	1	n. s.	0	1
一人っ子ダミー	0.59	0.41	0.50	1	n. s.	0	1
長子ダミー	0.57	0.43	0.67	1	n. s.	0	1
文系学部ダミー	0.61	0.39	1.92	1	n. s.	0	1
教育学部ダミー	0.68	0.33	20.60	1	p<.01	0	1
理系学部ダミー	0.42	0.58	91.80	1	p<.01	0	1
医学部保健学科ダミー	0.63	0.37	12.90	1	p<.01	0	1
地域志向教育ダミー (3科目以上)	0.59	0.41	2.74	1	p<.10	0	1
地域体験学習ダミー (ありなし)	0.62	0.38	26.14	1	p<.01	0	1
アルバイトダミー	0.53	0.47	49.46	1	p<.01	0	1
クラブダミー	0.56	0.44	3.36	1	p<.10	0	1
2年生ダミー	0.58	0.42	0.00	1	n. s.	0	1
3年生ダミー	0.54	0.46	4.10	1	p<.05	0	1
4年生ダミー	0.55	0.45	1.38	1	n. s.	0	1
弘前・中南地域ダミー	0.60	0.40	5.01	1	p<.05	0	1
八戸・三八上北地域ダミー	0.46	0.54	42.76	1	p<.01	0	1

第4章 用いる変数と基本統計量

- 第二段階の説明変数：地域意識5+現在幸福度1+市場条件5
- 市場条件：初任給+雇用機会として6産業ダミー

	希望進学先		χ^2 値	df	有意水準	最小値	最大値
	県内 (n=235)	県外 (n=239)					
初任給（対数値）	1.35	1.37				1.2	1.6
公務ダミー	0.71	0.29	16.26	1	p<.01	0	1
情報通信業	0.35	0.65	33.80	1	p<.01	0	1
学術研究・専門・技術サービス業	0.48	0.52	5.63	1	p<.05	0	1
宿泊・飲食サービス業	0.56	0.44	0.18	1	n. s.	0	1
生活関連サービス業	0.40	0.60	16.60	1	p<.01	0	1
教育・学習支援業	0.71	0.29	31.06	1	p<.01	0	1
医療・福祉	0.63	0.37	14.35	1	p<.01	0	1

第4章 用いる変数と基本統計量

- 多重共線性を回避するために、相関係数を確認。
- 相関係数が0.80以上の変数を取り除いて推計。

	地域の一員	地域に愛着	地域を離れることは困難	かかわりを持ちたい	10年後も同じくらい賑やか	現在の幸福度
地域の一員	1.00					
地域に愛着	0.85	1.00				
地域を離れることは困難	0.59	0.71	1.00			
かかわりを持ちたい	0.82	0.95	0.77	1.00		
10年後も同じくらい賑やか	0.70	0.57	0.62	0.62	1.00	
現在の幸福度	0.64	0.53	0.16	0.49	0.49	1.00

第4章 第一段階の推計結果

- 両親の出身は、地元意識を高める要因。
- アルバイト、クラブなどは困難さと負の相関。
- 地域体験学習は地域意識を高める要因。
- 2・3年生の幸福度が有意に低下している。

	地域愛着		困難		10年後		幸福度	
	係数	標準誤差	係数	標準誤差	係数	標準誤差	係数	標準誤差
男性ダミー	-0.075	0.056	0.018	0.061	0.208	*** 0.059	-0.032	0.092
父親県内出身ダミー	0.131	*** 0.049	0.035	0.054	0.061	0.052	0.031	0.081
母親県内出身ダミー	0.148	*** 0.049	0.252	*** 0.053	0.155	*** 0.051	-0.085	0.080
教育学部ダミー	0.371	0.262	0.290	0.286	0.184	0.277	0.322	0.430
理系学部ダミー	0.314	0.258	0.154	0.282	0.102	0.273	0.459	0.423
地域志向教育ダミー（3科目以上）	-0.011	0.051	0.112	** 0.056	0.050	0.054	0.033	0.084
地域体験学習ダミー（ありなし）	0.337	*** 0.051	0.240	*** 0.055	0.321	*** 0.053	0.236	*** 0.083
アルバイトダミー	-0.101	* 0.053	-0.213	*** 0.058	0.094	* 0.056	0.299	*** 0.088
クラブダミー	0.124	** 0.051	-0.107	* 0.055	-0.061	0.054	0.179	** 0.083
2年生ダミー	0.011	0.063	0.057	0.069	-0.032	0.067	-0.203	* 0.104
3年生ダミー	0.027	0.072	0.001	0.079	-0.170	** 0.076	-0.383	*** 0.118
4年生ダミー	0.128	* 0.075	-0.026	* 0.082	-0.073	0.079	-0.086	0.123
中南地域ダミー	0.147	** 0.071	-0.009	** 0.077	0.176	** 0.075	0.176	0.116
三八上北地域ダミー	-0.139	0.086	-0.255	*** 0.094	0.180	** 0.091	-0.059	0.142
定数項	3.187	*** 0.261	2.546	*** 0.285	1.998	*** 0.276	6.337	*** 0.428
サンプル数	2403		2403		2403		2403	
修正済み決定係数	0.041		0.042		0.035		0.013	

注) ***, **, *印は1%、5%、10%水準で有意であることを示す。

第4章 第二段階の推計結果

	県内希望有無	
	係数	標準誤差
愛着	0.015	0.192
困難	1.035 ***	0.181
10年後	-0.184	0.154
幸福度	-0.096	0.146
初任給（対数値）	-2.421 ***	0.368
公務ダミー	0.550 ***	0.113
情報通信業	-0.218 *	0.127
学術研究・専門・技術サービス業	0.054	0.131
宿泊・飲食サービス業	0.082	0.150
生活関連サービス業	-0.266 **	0.136
教育・学習支援業	0.422 ***	0.094
医療・福祉	0.277 ***	0.079
定数項	1.502	0.936

• 地元定着のプラス要因

- ① 困難さ
- ② 公務ダミー
- ③ 教育・学習支援業
- ④ 医療・福祉

• 地元定着のマイナス要因

- ① 初任給の水準
- ② 情報通信業
- ③ 生活関連サービス業

※定着有無を決定する要因
心理要因では困難さ、
市場要因では賃金と雇用機会

第4章 第一段階の推計結果(県外出身者1,676名)

- 青森県に対する地域意識であるため、家族属性変数は取り除いた。
- 地域志向教育, 地域体験学習は地域愛着を高める。・学年が上がるにつれて, 地域愛着が高まる。
- 2・3年生の幸福度が有意に低下している。

	地域愛着		困難		10年後		幸福度	
	係数	標準誤差	係数	標準誤差	係数	標準誤差	係数	標準誤差
男性ダミー	-0.079	0.066	0.186 ***	0.047	-0.056	0.062	0.177 *	0.098
教育学部ダミー	0.121	0.123	0.084	0.087	0.180	0.114	0.269	0.182
理系学部ダミー	-0.058	0.091	-0.100	0.065	-0.035	0.084	0.050	0.134
保健学部ダミー	0.033	0.097	0.068	0.069	0.133	0.090	0.160	0.143
薬学部ダミー	0.015	0.446	0.962 ***	0.316	0.509	0.413	-0.015	0.658
地域志向教育ダミー (3科目以上)	0.138 *	0.076	0.007	0.054	0.097	0.070	0.150	0.112
地域体験学習ダミー (ありなし)	0.439 ***	0.065	0.209 ***	0.046	0.239 ***	0.060	0.356 ***	0.096
アルバイトダミー	-0.016	0.069	-0.047	0.049	-0.038	0.064	0.274 ***	0.101
クラブダミー	0.232 ***	0.070	-0.020	0.049	-0.019	0.065	0.154	0.103
ボランティア	0.008	0.079	-0.102 *	0.056	-0.017	0.073	-0.021	0.117
2年生ダミー	0.231 ***	0.086	-0.024	0.061	-0.302 ***	0.080	-0.307 **	0.127
3年生ダミー	0.208 **	0.097	-0.154 **	0.069	-0.444 ***	0.090	-0.395 ***	0.143
4年生ダミー	0.675 ***	0.097	-0.082	0.069	-0.227 **	0.090	0.059	0.143
定数項	2.461 ***	0.189	1.797 ***	0.134	2.743 ***	0.175	6.521 ***	0.279
サンプル数	1676		1676		1676		1676	
修正済み決定係数	0.054		0.054		0.039		0.021	

注) ***, **, *印は1%、5%、10%水準で有意であることを示す。

第4章 第二段階の推計結果(県外出身者)

	Uターン		Iターン	
	係数	標準誤差	係数	標準誤差
愛着	-1.435 ***	0.426	-0.845 *	0.450
困難	-0.728	0.637	-0.606	0.680
10年後	0.008	0.766	-0.573	0.808
幸福度	1.110 **	0.505	0.787	0.533
初任給(対数値)	-3.035 **	1.534	-0.282	1.618
公務ダメー	-0.391	0.438	-1.300 ***	0.484
情報通信業	0.165	0.776	0.232	0.788
学術研究・専門・技術サービス業	-0.146	0.472	-0.153	0.484
宿泊・飲食サービス業	-0.129	0.776	0.189	0.787
生活関連サービス業	13.287	553.194	13.970	553.194
教育・学習支援業	0.264	0.437	-0.669	0.465
医療・福祉	-0.486	0.323	-0.844 **	0.337
定数項	4.342	3.440	1.819	3.623
サンプル数	1676			
Pseude R2	0.045			

- Uターン, Iターン共に, 青森県の愛着が青森定着タイプより有意に低い。
- Uターン組の希望初任給が有意に低い。つまり, 賃金が低くても地元にもとる理由がある。
- Iターンタイプには, 公務, 医療・福祉業種が低い。

※青森県への愛着と県外出身者の青森定着には有意な因果関係があると言える。

注) **、*印は1%、5%、10%水準で有意であることを示す。

第5章 小中高の体験と地域意識

- 第5章では、県内出身者のうち、性別不明を除いた3078名を対象を絞り、小中高の地域体験と地域愛着との関係を明らかにする。
- 小学校のときの地域体験は、一員、愛着、かかわりなどにプラスの影響を与えていると思われる。

小学生のとき		地元意識				
		一員	愛着	困難	かかわり	10年後
屋外で炊事など	あり	3.68**	3.91**	2.80	3.70**	2.63
	なし	3.70	3.87	2.87	3.65	2.61
職場体験	あり	3.77***	3.89	2.90	3.76	2.71
	なし	3.69	3.89	2.83	3.67	2.62
祭り	あり	3.74***	3.93***	2.82	3.71**	2.59**
	なし	3.51	3.71	2.91	3.54	2.75
イベント参加	あり	3.78***	3.96***	2.85	3.75***	2.64
	なし	3.49	3.72	2.81	3.49	2.58
イベント手伝い	あり	3.82***	4.00***	2.83	3.76***	2.62
	なし	3.53	3.75	2.85	3.56	2.62

注) **、*印はカイ二乗検定で1%、5%、10%水準で有意であることを示す。

第5章 小中高の体験と地域意識

- 中学校のときも小学校と同様，地域体験は，一員，愛着，かかわりなどにプラスの影響を与えていると思われる。
- 職場体験は，困難さとの弱い関係がみられる。

中学生のとき		地元意識				
		一員	愛着	困難	かかわり	10年後
屋外で炊事など	あり	3.68***	3.87**	2.78	3.64*	2.67*
	なし	3.80	3.90	2.86	3.68	2.60
職場体験	あり	3.72	3.87	2.72*	3.60	2.65
	なし	3.69	3.89	2.87	3.69	2.61
祭り	あり	3.76***	3.95***	2.80	3.71	2.60
	なし	3.56	3.76	2.90	3.60	2.66
イベント参加	あり	3.80***	3.98***	2.84	3.75***	2.64
	なし	3.54	3.75	2.83	3.55	2.59
イベント手伝い	あり	3.79***	3.99***	2.82	3.75**	2.62
	なし	3.61	3.80	2.85	3.61	2.62

注) ***, **, *印はカイ二乗検定で1%、5%、10%水準で有意であることを示す。

第5章 小中高の体験と地域意識

- 高校のときも小・中学校と同様，地域体験は，一員，愛着，かかわりなどにプラスの影響を与えていると思われる。
- 高校では，職場体験は一員，困難さ，10年後と有意な関係がみられる。

高校生のとき		地元意識				
		一員	愛着	困難	かかわり	10年後
屋外で炊事など	あり	3.76***	3.96**	2.86	3.73**	2.78***
	なし	3.68	3.87	2.83	3.66	2.58
職場体験	あり	3.73*	3.89	2.86*	3.75	2.72**
	なし	3.69	3.89	2.84	3.66	2.61
祭り	あり	3.79***	4.02***	2.81	3.77***	2.67**
	なし	3.59	3.74	2.86	3.57	2.57
イベント参加	あり	3.86***	4.05***	2.86	3.80***	2.71**
	なし	3.56	3.78	2.81	3.56	2.55
イベント手伝い	あり	3.87***	4.07***	2.89	3.82***	2.71**
	なし	3.62	3.81	2.82	3.61	2.58

注) ***, **, *印はカイ二乗検定で1%、5%、10%水準で有意であることを示す。

第5章 小中高の体験と地域意識

- 母親県内出身ダミーは若者の地域意識と強い関係があることがわかる。
- 小学校と高校の時に、地域イベントへの参加や手伝い、祭りへの参加が地域の一員、愛着、かかわりなどに正の有意な関係が認められる。

	一員		地域愛着		困難		かかわり		10年後						
	係数	標準誤差	係数	標準誤差	係数	標準誤差	係数	標準誤差	係数	標準誤差					
男性ダミー	-0.094	**	0.046	-0.094	**	0.045	-0.154	***	0.050	-0.109	**	0.045	0.078	0.048	
父親県内出身ダミー	0.030		0.045	0.077	*	0.044	0.035		0.049	0.121	***	0.044	0.024	0.047	
母親県内出身ダミー	0.154	***	0.044	0.123	***	0.043	0.198	***	0.048	0.171	***	0.043	0.159	***	0.046
小学校															
祭り	0.035		0.070	0.050		0.068	-0.102		0.076	0.001		0.069	-0.266	***	0.074
イベント参加	0.101		0.067	0.041		0.065	0.105		0.072	0.146	**	0.065	0.155	**	0.070
イベント手伝い	0.207	***	0.055	0.162	**	0.053	-0.017		0.059	0.122	**	0.053	-0.025		0.057
中学校															
屋外での炊事など	-0.106		0.065	-0.153	**	0.063	-0.100		0.070	-0.180	***	0.063	-0.007		0.068
職場体験	-0.021		0.060	-0.063		0.058	-0.196	***	0.065	-0.163	***	0.059	0.006		0.063
祭り	-0.003		0.068	-0.068		0.066	-0.117		0.073	-0.136	**	0.066	-0.108		0.071
高校															
屋外での炊事など	0.099		0.067	0.105		0.065	0.109		0.072	0.107	*	0.065	0.189	***	0.070
祭り	0.004		0.060	0.152	***	0.059	-0.068		0.065	0.118	**	0.059	0.091		0.063
イベント参加	0.163	**	0.063	0.104	*	0.061	0.064		0.068	0.074		0.061	0.087		0.066
定数項	0.045	***	0.071	3.532	***	0.071	2.845	***	0.079	3.304	***	0.071	2.525	***	0.076
サンプル数	3078			3078			3078			3078			3078		
修正済み決定係数	0.267			0.027			0.012			0.028					

注) ***, **, *印は1%、5%、10%水準で有意であることを示す。

第6章 個人属性別理由など

- 第6章では、県内出身者のうち、性別不明を除いた3078名を対象を絞り、希望理由などを概観する。
- 女性の県外希望理由で最も高いのが、「出身地域と別の地域で生活してみたいから」、53.4%である。

(複数回答)

希望理由	男性		女性	
	県内	県外	県内	県外
自分の能力が活かそうだから	24.1	24.3	17.7	17.4
希望する企業があるから	14.1	39.3	13.8	36.4
知人が多いから	35.3	6.3	29.4	7.1
親や家族を支えたいから	43.0	5.7	56.0	4.7
出身地域が好きだから/その地域が好きだから	46.2	22.1	49.3	22.3
就職後の生活が精神的に楽だと思ふから	32.3	11.3	41.5	13.2
希望する給与や待遇が期待できるから☑	4.4	36.8	4.1	38.9
物価が安く、経済的な負担が少ないから/出身地域と別の場所で生活してみたいから	18.3	37.5	17.9	53.4
親と家族の勧めで	7.5	1.6	11.6	2.5
奨学金を借りているから	11.1	5.1	17.3	7.5
住み慣れていて便利だから/都会の方が便利だから	55.6	43.5	66.0	48.8

第6章 個人属性別理由など

- 県外希望者は男女ともに、マイナスイメージである「小規模・零細な企業が多く、大企業が少ない」「労働条件(賃金や福利厚生など)が悪い」をあげている。

(複数回答)

県内企業イメージ	男性		女性	
	県内	県外	県内	県外
小規模・零細な企業が多く、大企業が少ない	56.2	57.3	57.0	55.8
地域に密着した仕事に携われる	36.8	37.9	41.2	40.1
アットホームで親しみやすい雰囲気がある	22.4	20.6	29.4	27.9
労働条件(賃金や福利厚生など)が悪い	25.3	39.1	40.1	47.7
将来性がなく、時代に合った仕事が少ない	16.2	28.5	16.6	25.1
研究開発や企画部門が少ない	12.9	20.2	10.2	15.3
下請けが多い	19.2	27.9	13.0	18.6
技術力・専門性がある	0.0	0.0	0.0	0.0
経営が不安定で計画性がない	6.9	11.7	6.6	10.1
仕事にやりがいや誇りを持てる	10.4	6.7	8.8	5.3
女性労働者が多い	2.0	1.6	4.2	3.2
ワークライフバランスを実践できる	7.1	6.5	7.1	5.9
特にイメージはない	18.3	15.6	12.2	12.6

第6章 個人属性別理由など

- 就職先選択基準は、男女・県内県外を問わず、「労働環境がいい」、「給料が高い」をあげている。

(複数回答)

就職先選択基準	男性		女性	
	県内	県外	県内	県外
希望の勤務地で働ける	37.4	21.1	36.1	23.2
仕事内容が魅力的	32.3	37.7	31.6	33.8
労働環境がいい	65.7	55.7	64.5	63.3
休日・休暇が多い	47.2	45.1	41.5	43.7
福利厚生が整っている	38.8	42.5	45.4	50.5
将来性がある	13.5	22.9	12.6	12.6
社会への貢献度が高い	10.2	8.5	8.8	5.8
給料が高い	45.4	50.4	48.1	51.1
大企業や有名な会社	0.8	5.9	0.3	2.2
親や先生の勧め	1.1	0.8	0.8	0.1
公共交通機関をはじめ生活の利便性が高い	4.1	3.0	5.4	7.0
在宅勤務やテレワークなど自由な働き方	3.2	4.9	4.0	4.9
その他	0.0	0.4	0.1	0.3

第6章 個人属性別理由など

- インターンシップ以外は、体験有無と就職地とは無関係。
- インターンシップは体験した、あるいは希望している者の県内希望が若干高くなっている。

就職活動プログラム	男性		カイ二乗 検定結果	女性		カイ二乗 検定結果	
	県内	県外		県内	県外		
企業見学	体験した	55.9	44.1		60.6	39.5	
	希望している	55.1	44.9	n.s.	60.8	39.2	n.s.
	希望していない	63.1	36.9		65.5	34.5	
インターンシップ	体験した	49.0	51.0		63.4	36.6	
	希望している	56.1	43.9	**	59.6	40.4	**
	希望していない	65.9	34.1		65.7	34.3	
トライアル雇用	体験した	54.6	45.5		61.3	38.7	
	希望している	54.1	45.9	n.s.	60.6	39.4	n.s.
	希望していない	59.1	40.9		62.5	37.5	

注) **は、5%水準で有意であったことを示す。

第6章 個人属性別理由など

- 奨学金利用有無と希望初職地とは無関係。
- 男性の県の返還支援制度を知っている層で、県内希望者が若干高くなっている。

	奨学金	男性		カイ二乗 検定結果	女性		カイ二乗 検定結果
		県内	県外		県内	県外	
利用	している	57.4	42.6	n.s.	61.1	38.9	n.s.
	していない	55.7	44.3		62.9	37.1	
県の返還支援	知っている	60.3	39.7	***	61.8	38.2	n.s.
	知らない	54.9	45.1		61.7	38.3	

注) ***は、1%水準で有意であることを示す。

第6章 個人属性別理由など

- 結婚までを考えて選択している層で、県外が多い。
- 子育てや定年退職、親などの介護と長期的な視点で選択している層で県内希望者が多い。

想定ライフステージ	男性		カイ二乗 検定結果	女性		カイ二乗 検定結果
	県内	県外		県内	県外	
結婚	20.8	25.7		16.1	20.7	
子育て	11.1	12.7		19.7	15.8	
親などの介護	8.6	4.6	***	10.2	5.6	***
転職	3.8	9.7		5.4	10.7	
定年退職	17.7	12.5		15.5	9.5	
想定していない	38.1	35.0		33.1	37.8	

注) ***は、1%水準で有意であることを示す。

第6章 個人属性別理由など

- 理系の男性で県外希望者が多い。
- 学年については、3年生で県外希望者が若干高くなっている。全体の傾向と同様。

属性	文系		カイニ乗検定結果	教育系		カイニ乗検定結果	理系		カイニ乗検定結果	保健学系		カイニ乗検定結果	薬学系		カイニ乗検定結果	
	県内	県外		県内	県外		県内	県外		県内	県外		県内	県外		
性別	男性	66.9	33.1	*	76.3	23.7	n.s.	41.9	58.1	*	72.4	27.6	***	66.7	33.3	*
	女性	59.8	40.3		68.6	31.4		49.0	51.0		61.4	38.6		92.0	8.0	
学年	1年生	61.3	38.7	n.s.	73.4	26.6	*	48.4	51.6	*	67.3	32.7	**	100.0	0.0	n.s.
	2年生	64.4	35.6		71.2	28.8		39.5	60.5		68.1	31.9		66.7	33.3	
	3年生	62.9	37.1		59.6	40.4		38.3	61.7		59.2	40.8		100.0	0.0	
	4年生	62.2	37.8		65.1	34.9		47.0	53.0		56.8	43.2		88.9	11.1	

注) **、*印はカイニ乗検定で1%、5%、10%水準で有意であることを示す。性別には無回答者20名を取り除いている。

第6章 個人属性別理由など

- 理系では、県外希望者の理由で希望する企業があるからが最も高くなっている。
- 文系では、出身地と別の場所で生活してみたいからが最も高くなっている。

(複数回答)

希望理由	文系		理系		保健学系	
	県内	県外	県内	県外	県内	県外
自分の能力が活かせそうだから	20.8	20.4	19.6	24.6	16.4	15.3
希望する企業があるから	16.7	39.6	14.2	48.7	12.6	27.8
知人が多いから	28.7	5.6	30.2	4.8	31.3	9.3
親や家族を支えたいから	46.4	3.6	50.0	6.8	53.7	5.1
出身地域が好きだから/ その地域が好きだから	51.9	23.2	45.0	21.3	42.9	20.7
就職後の生活が精神的に楽だと思えるから	43.1	12.8	35.8	14.0	37.0	9.9
希望する給与や待遇が期待できるから☑	4.1	36.0	4.2	36.8	4.0	41.1
物価が安く、経済的な負担が少ないから/ 出身地域と別の場所で生活してみたいから	18.9	54.4	15.6	40.1	19.6	48.4
親と家族の勧めで	7.9	4.0	10.1	0.7	11.8	3.1
奨学金を借りているから	12.0	6.8	10.9	4.6	18.0	11.6
住み慣れていて便利だから/ 都会の方が便利だから	66.0	49.2	58.9	46.9	60.3	44.5

第6章 個人属性別理由など

- 学系を問わず，小規模・零細な企業が多い，大企業が少ない，労働条件が悪いのマイナスイメージ強い。

(複数回答)

県内企業イメージ	文系		理系		保健学系	
	県内	県外	県内	県外	県内	県外
小規模・零細な企業が多く、大企業が少ない	64.8	62.0	61.2	62.7	51.0	46.7
地域に密着した仕事に携われる	46.4	42.4	40.8	43.9	35.5	31.7
アットホームで親しみやすい雰囲気がある	22.7	24.0	19.6	19.1	30.0	30.0
労働条件（賃金や福利厚生など）が悪い	38.8	48.0	31.0	41.9	32.0	44.8
将来性がなく、時代に合った仕事が少ない	21.5	26.8	18.7	30.5	12.9	20.7
研究開発や企画部門が少ない	12.7	15.6	19.3	26.5	7.2	9.9
下請けが多い	20.1	22.8	22.6	28.5	8.7	14.7
技術力・専門性がある	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
経営が不安定で計画性がない	9.6	11.2	7.0	11.6	4.0	8.8
仕事にやりがいや誇りを持てる	3.1	5.2	8.9	5.7	9.4	5.1
女性労働者が多い	7.9	4.0	2.0	1.3	3.2	2.3
ワークライフバランスを実践できる	13.4	7.2	7.3	6.1	7.9	6.2
特にイメージはない	13.4	10.4	10.6	11.8	15.7	16.4